

令和6年度赤羽駅東口地区まちづくり全体協議会 第1回幹事会<記録概要>

開催日時 令和7年1月31日 14:00~15:30

会場 赤羽文化センター 第1視聴覚室A

出席者 協議会幹事:13名

オブザーバー:8名

事務局:北区拠点まちづくり担当課、総合環境計画(コーディネーター)

都市企画工房(コーディネーター)

配布資料 資料 1 オープンハウス型説明会での展示パネル資料

資料 2 まちづくり提案とまちづくり基本計画の内容比較表

資料 3 今後の協議会活動実施に向けた検討(ワークショップ資料)

資料 4 赤羽駅利用者に関するアンケート調査票(案)

参考資料1 令和7年度以降の活動(案)

1. 開会

(会長挨拶)

◇協議会の森岡会長より、以下のとおり開会の挨拶があった。

- ・前回の幹事会が令和5年11月であるため、実に1年ぶりの開催となる。
- ・私も参加している「赤羽駅周辺地区まちづくり基本計画(以下、「基本計画」とする)」の検討が進んでおり、12月にはこれまでの議論の経過をまとめについて、報告会が行われた。このような状況を踏まえ、本日は、基本計画の検討内容を皆さんと共有するとともに、今後の協議会活動について意見交換させていただきたいと考え、幹事会を開催することとした。

2. 議題

(1) 赤羽駅周辺地区まちづくり基本計画の検討状況について

◇事務局より、区が進める基本計画の検討状況や、まちづくり提案と基本計画の内容の比較について、【資料1】【資料2】を用いて説明があった。

- ・「赤羽駅周辺地区まちづくり基本計画策定検討会(以下、「検討会」とする)」の主な目的は、赤羽駅周辺地区で、大規模な土地利用転換が予定されていることなどを踏まえて、将来的なまちづくり像を明らかにすること。
- ・具体的には、取り組むべき課題やまちづくりを進める上で大切にしたい価値観などを踏まえて、赤羽駅周辺のまちの将来像としての大きな姿を示すことを目的として、まちづくりの目標や基本方針、まちの骨格形成の考え方などを取りまとめていく。
- ・次年度以降には、この基本計画で示す将来像を念頭にさらなる計画検討を予定している。

意見及び質疑応答（○＝意見・質問等、→＝回答）

- 基本計画の検討会に参加していない人でもわかるように、本日の資料を事前送付することや説明の仕方などを工夫してほしい。
- 資料2については、総会でまちづくり提案が否決された旨を明記するなど配慮が必要ではないか。幹事会案とあるが、当時の幹事会の中でも賛成、反対の意見があった中で、賛成が多かったからその案でいくことになった経緯がある。
- 今回の資料は、提案としてまとめたものをどこかにあげるという趣旨のものではなく、まちづくり提案に対して基本計画検討会の中ではどういう検討がされているかを比較する意図で作成した。表現について支障があるのであれば、正副会長とご相談し、対応を考えたい。
- まちづくり提案が否決されたのは、赤羽小学校は地域の拠点としてそのまま残地することが望ましいとある一方で、赤羽小学校の地区内他所への移転は「次善の策」と考えるとの記載もあり、矛盾していることが主な原因だと思う。
- このまちづくり協議会は住民主体であり、区が進めている検討会は基本計画を作るための会議であり、これまで検討してきたまちづくり提案は、地域住民の考えを基本計画に上げようという流れで検討してきたもの。
- まちづくり提案は総会で否決され検討会に上げることができなかったが、検討会の地元委員の半分以上が幹事会のメンバーでもあるため、協議会で話し合ったことは、検討会にも反映されている。
- 今後は、今までと同じようなことをやってもあまり意味がないので、これからの協議会活動をどうしていこうか、ということ話し合いたい。
- 幹事皆さんがもっている意見を踏まえて、今後の協議会をどのように続けていくか相談する形としたい。

（２）今後の協議会活動実施に向けた検討

- ◇コーディネーターより、今後の協議会活動実施に向けた検討について【資料3】を用いて以下のとおり説明があった。
- ・過去に実施したまちづくりワークショップや幹事会での意見を参考に、今後の協議会活動で、こういったソフト面の取り組みができるかをグループワークにて検討いただきたい。

意見及び質疑応答（○＝意見・質問等、→＝回答）

- 再開発や赤羽小学校がどうなっていくのかが皆知りたい事だと思う。ワークショップをする以前に、基本計画の検討会がどういうことをやっているのかなど、協議会でも関連した議論をして欲しい。
- （コーディネーター回答）再開発のことだけではなく、今あるものを活用してどういった活動ができるかを考えることも大切と考え、1つの提案としてグループワークを企画させてもらった。

○現在の商店街での後継者不足が深刻だ。商売をやめて場所を貸して、それで食べていけるから商売はもういいや、となっている状態にある。人に貸すよりも自分で商売やった方が楽しいということを啓蒙していくことが大切だと思う。

→（コーディネーター回答）地域課題として、商店街の空き店舗の増加や人通りの減少などがあげられている。ワークショップでそのようなことを話し合いたい。

○ハードとソフトの話が出たが、それがまさに協議会と検討会の住み分けとなる。協議会は、商店街や自治会の方がいらっしゃるのでソフト面のことを考えていくのがいいと思う。再開発は、住民主体で取り組んでもいいが、地権者や北区、東京都がどう判断するかも大きくかわるため、難しい話だと思う。協議会のメンバーも検討会に参加しているため、ハード面については検討会で話し合ってもらいたいと思う。

○何年も議論しているが、具体的な結果が出ておらず、何を検討し、何を決定するのかを明確にしてほしい。参加しても何も決まらず無駄に感じている。

○一部の発言力の強い人だけが主張する状況を変え、参加者が発言しやすいように会議の進行を改善してほしい。

○（コーディネーター）まちづくり提案の話が出たのは、まだ検討会が始まる以前の段階であり、いずれ基本計画の策定が進められることを見越して、地域住民の声を届けようという経緯でハードもソフトも含めて様々な意見を取り入れながら議論を始めた経緯がある。結果的にまちづくり提案が否決され、住民の声を届けることができなかったが、その検討の中で出た意見は、まちづくり基本計画でも考慮されているという意味で資料2をまとめていただいた。まちづくり提案が否決されたこともあり、結論が出せなかった上でこれからの活動を考えるにあたり、まちづくりの計画は検討会に任せて、その間に何かできることを探して活動するのがいいと思う。検討会の結論がでたら、またそれを受けて必要に応じて新たに活動を行っていく方が実質的だ。まちづくりに目を向けてもらうという意識醸成は非常に大きな役割であるため、まちづくり提案の成果を認識しつつも、次に進んでいってはどうかと考えている。

（グループワークは未実施）

3. その他

- ・次回幹事会は、正副会長と相談の上、後日ご案内する。

◆当日の様子

